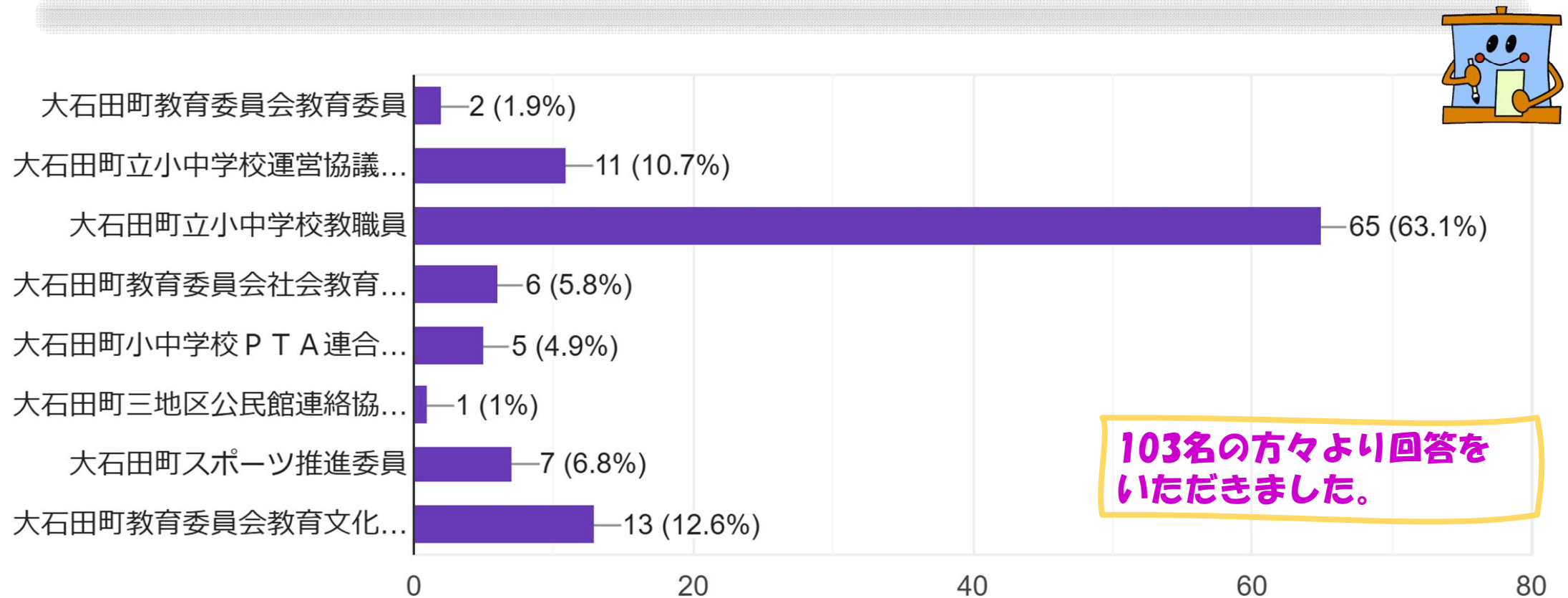


令和6年度大石田町教育方針「評価シート」のまとめ

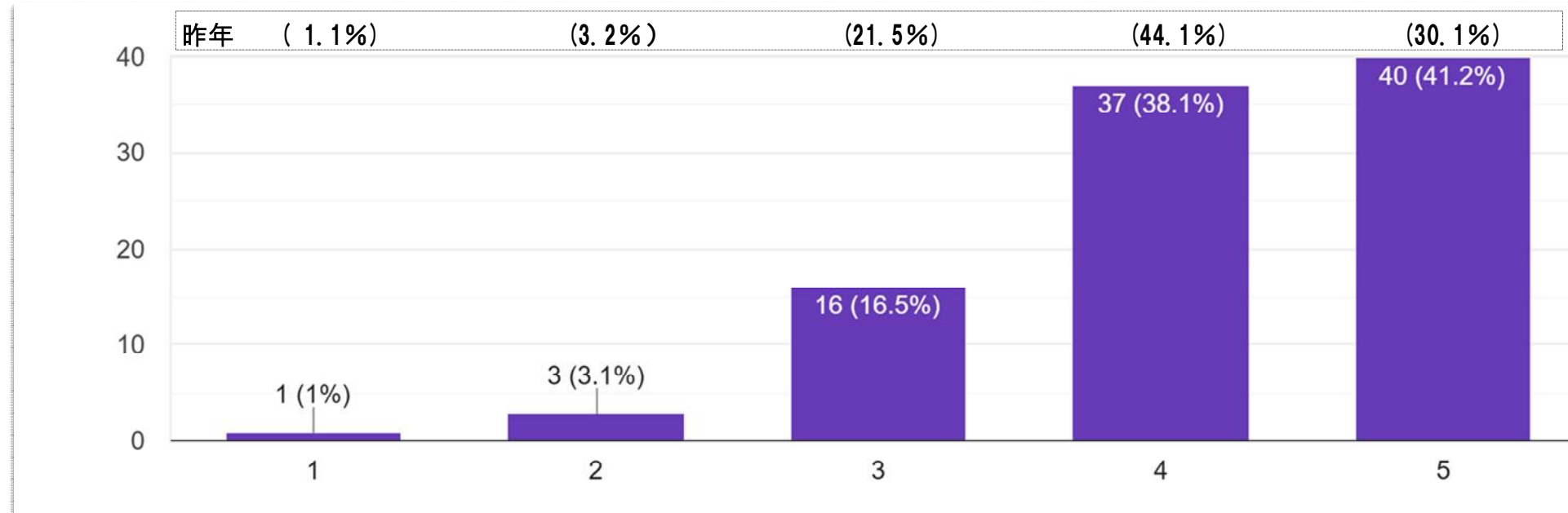


A 地域と共にある学校づくりの推進

5（できた）と4（だいたいできた）の割合の合計です。
R5とR6で比較しています。

1 地域学校協働活動の積極的推進

☛コミュニティスクールと地域学校協働本部との一体的な推進。
地域学校協働活動推進員による学校の体験活動の支援。



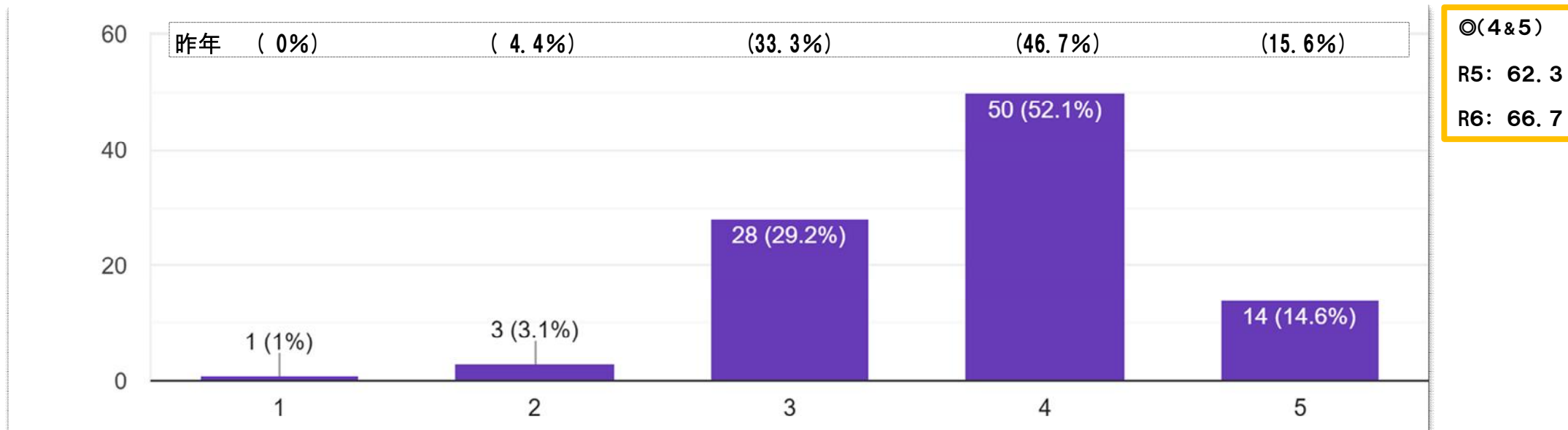
◎(4&5)
R5: 74.2
R6: 79.3

- 学校運営協議会が機能している。
- 学校と地域学校協働本部との連携
- 学校の教育活動と地域の人材の結びつき
- 統括地域学校協働活動推進員の人材発掘、連絡調整、相談、支援の充実
- サンサンスタディの取り組みと成果
- 郷土愛の醸成、地域との交流の深まり、児童生徒の交流と成長
- ▲活動の積み上げによる学校の負担増、高学年の多忙化
- ▲学校運営協議会委員の新たな取り組みや研修

A 地域と共にある学校づくりの推進

2 「引・伸・灯」教育の推進

☛ 全ての子供の可能性を最大限に引き出す教育の推進。
「させる」から「支える」を大切にした生徒指導の推進。

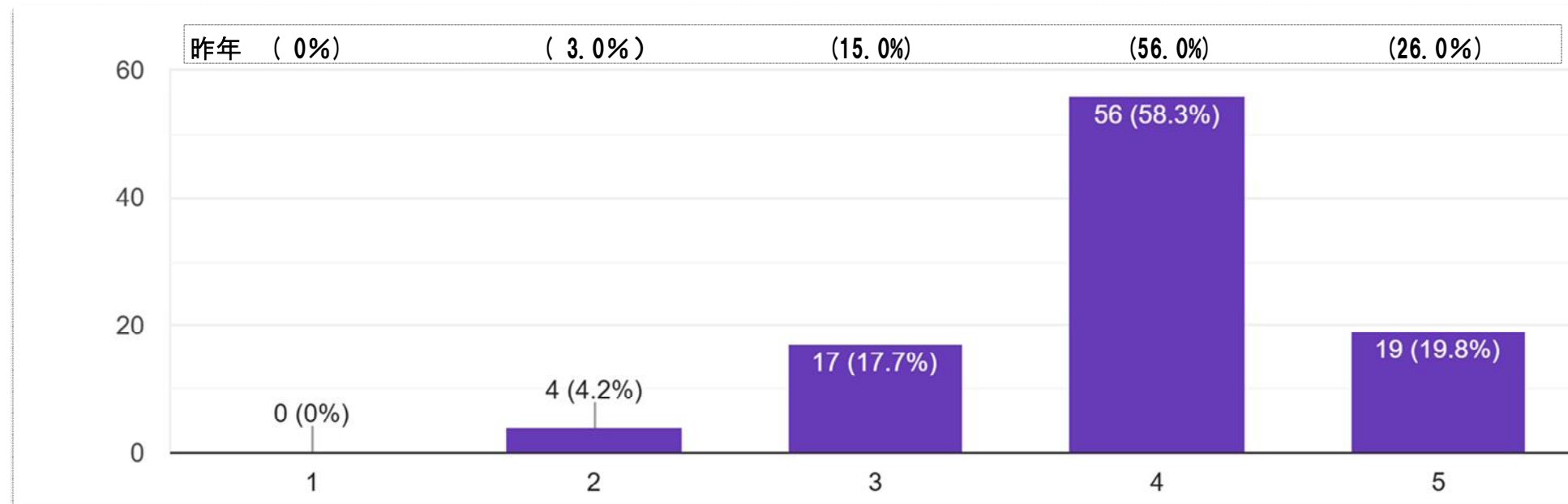


- 児童生徒の主体性、自己決定力を育てる活動
- 特別活動の実践による子どもを中心に据えた学級経営、学校運営
- 生徒指導の視点にもとづく授業実践
- 「なないろスコラ」設置
- 小中の連携した取り組み
- あいさつの地域展開
- ▲意図的な取り組みと見取りの工夫
- ▲子どもが主体となる活動の質の向上
- ▲「支える」ための見通し
- ▲教員配置、教員数
- ▲学力向上、子どもの力を伸ばす対策

A 地域と共にある学校づくりの推進

3 開かれた信頼される学校づくり

積極的な情報発信と教育目標や目指す子供像の共有。
学校と地域の交流の促進。不祥事の絶無。



◎(4&5)

R5: 82.0

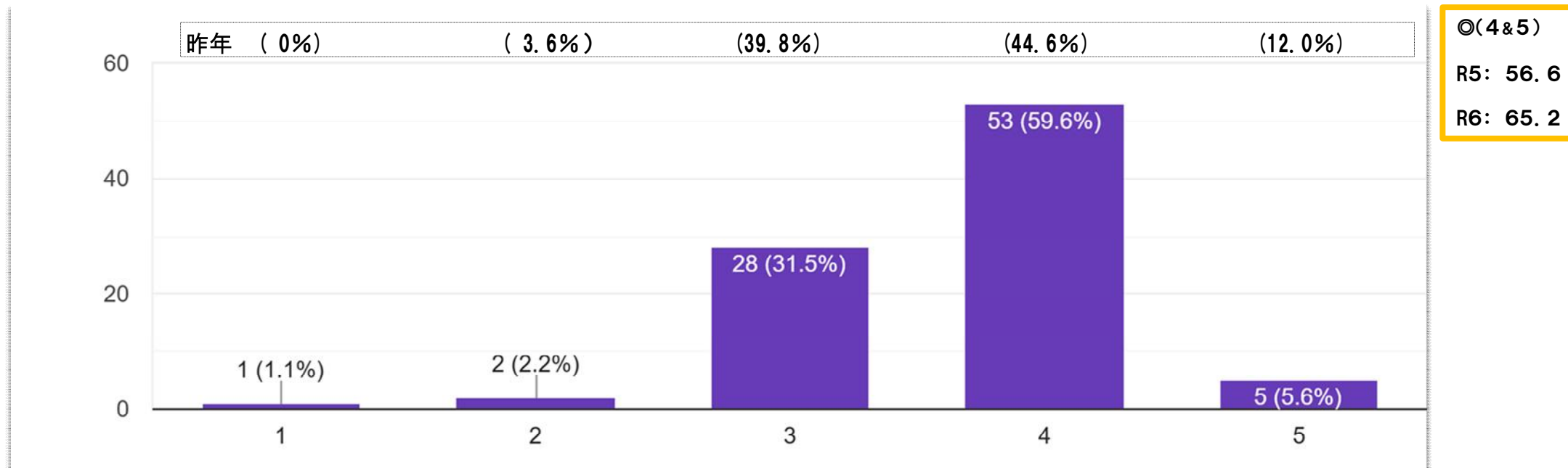
R6: 78.1

○学校ホームページの開設、HPでの活動記録などの情報発信 ○充実した学校、学年、学級だよりの発行 ○かるた大会
○フリー参観日増設 ○保護者との参加行事での関わり、日頃の密な連絡 ○学校行事への地域住民の参加
▲保護者や地域の意見を聞く場面が少ない ▲学習ボランティアの充実 ▲統合小に3つの小学校の学校づくりを活かす。
▲コロナ禍からの精選が簡素化にならないように。 ▲社会教育事業への教職員の理解と児童生徒への周知

B 学校教育の充実

1 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実

●個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実。
主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善。

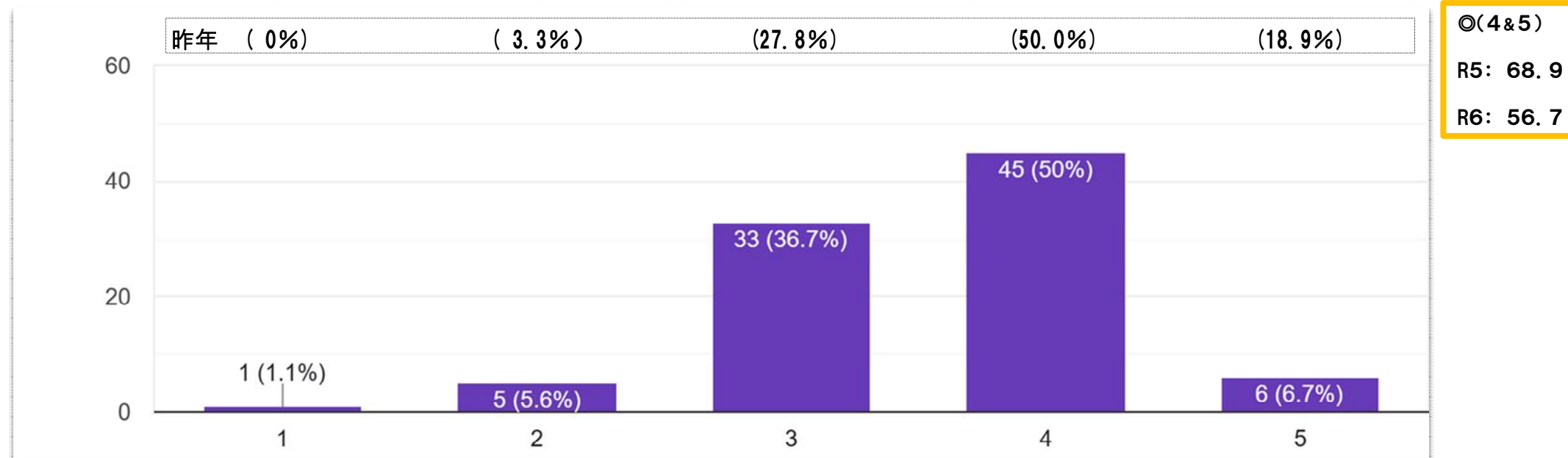


- 特別活動で得た主体性を教科にいかす。
- 協働的な学びの土台となる人間関係づくり
- ICTの積極的活用
- 自由進度学習による主体的な学びと協働する姿
- 個に応じた支援
- 特別支援学級の交流学习
- 単元全体の見通し、授業でつきたい力やねらい
- 校内研究による教師の学び
- ▲求められている授業像の共有
- ▲教科の本質に迫るための教師の学びの継続
- ▲個別に対応するための教員人員の確保
- ▲基礎学力向上
- ▲読書の充実

B 学校教育の充実

2 社会の変化に対応する教育の推進

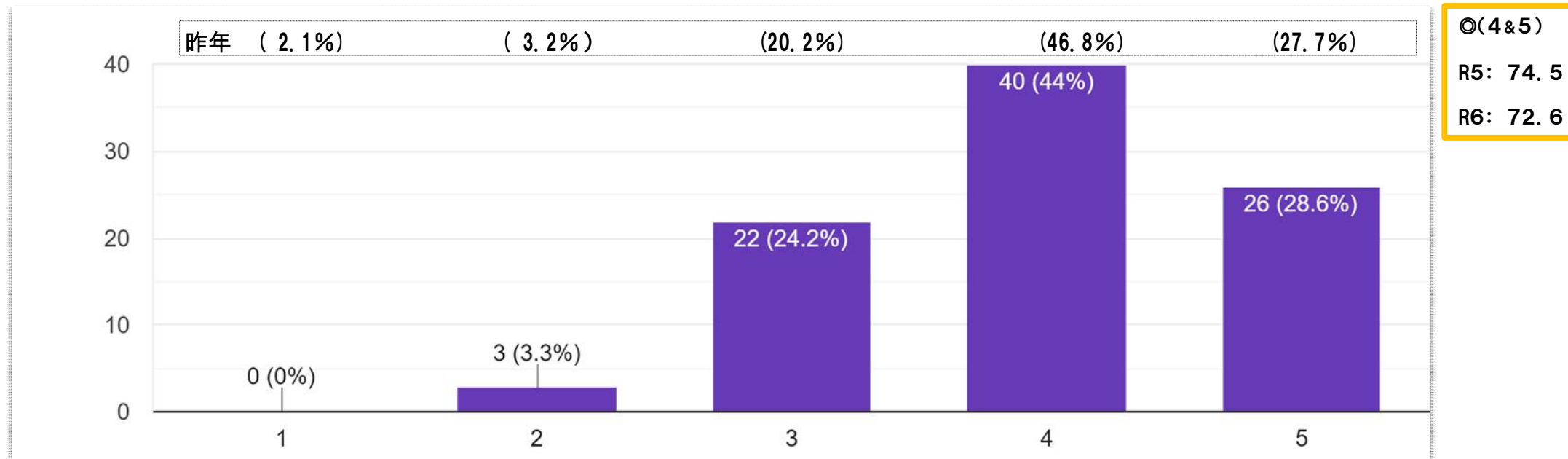
☛ICT活用による教育DXとグローバル化に対応する教育の推進。
Well-being（ウェルビーイング）の実現に向けた新たな学びの創造。



- 電子黒板やロイロノートの活用
- 校務支援ソフトの運用による事務負担軽減
- DX推進による用紙やインクの節約
- zoomでの授業配信(個への対応)
- ICT支援員の計画的な配置
- タブレット活用による学習への興味関心の高まり
- ▲ICTを学習に活かすためのステップアップ
- ▲e-ライブラリーの活用
- ▲ネット回線
- ▲zoomのライセンス契約
- ▲校務支援ソフトのメッセージ機能付加
- ▲他者を受容的に受け入れる姿勢、言葉遣い

B 学校教育の充実

3 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備 ☞サンサンスタディを核とした小学校間の連携の促進。児童生徒が共通理解を図りながら取り組む活動の実施。

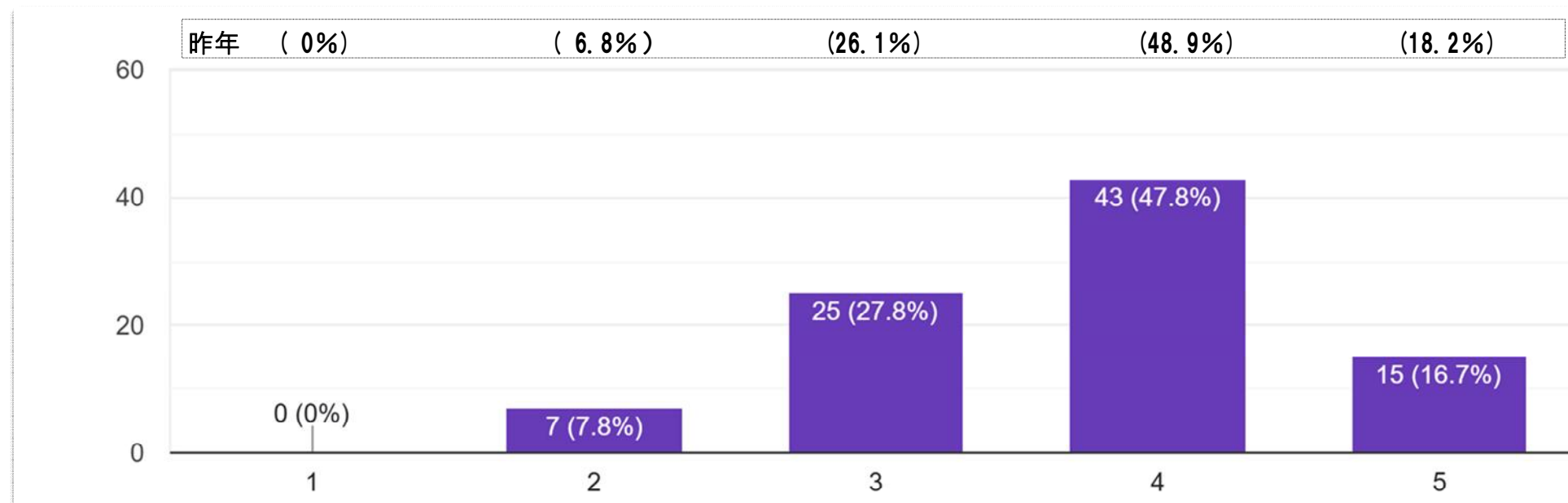


- サンサンスタディや三校合同行事により、統合の下地づくりが順調
- 学校間交流を通じた児童の成長
- 小中連携した授業改善への取り組み
- 小学校時の交流で中学校進学への不安を軽減
- ▲小中連携に対する各学校内での意識
- ▲小中の教科連携のための年間計画と単元計画の吟味
- ▲小学生と中学生の交流の機会
- ▲バス移動の時間調整

B 学校教育の充実

4 多様なニーズに対応した教育機会の提供

☞心の教室相談員やSCによる教育相談の充実。
SSWCによる関係機関との連携促進。就学支援と援助。



◎(4&5)

R5: 67.1

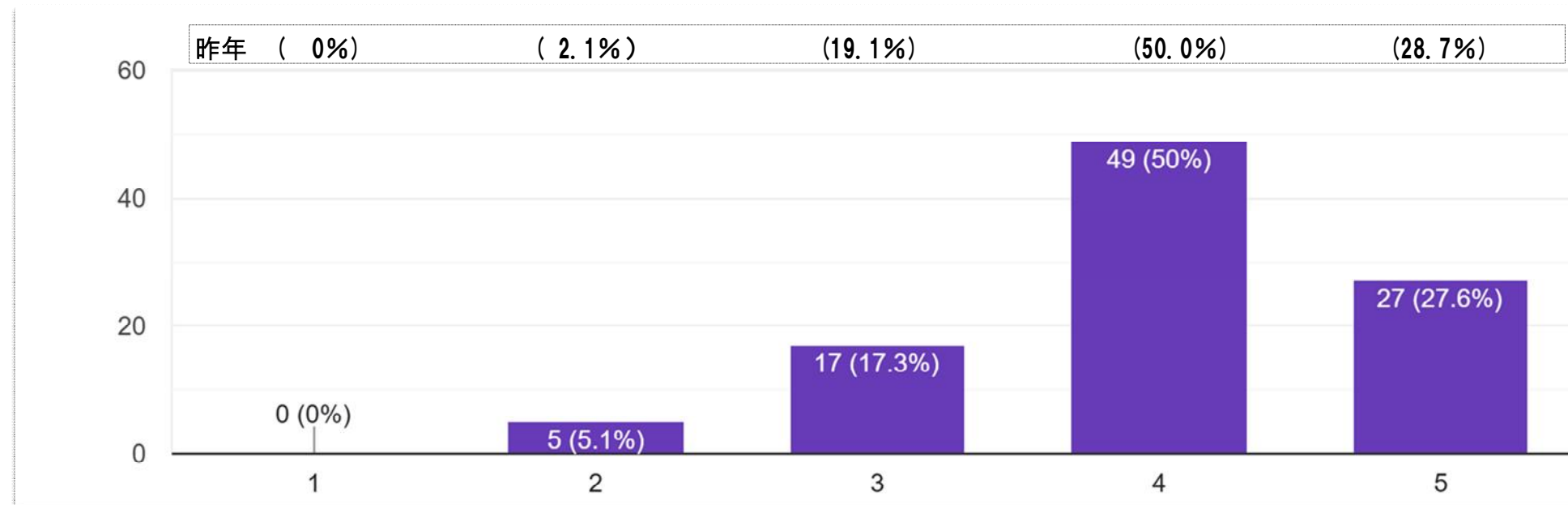
R6: 64.5

○SC、相談員による丁寧な相談活動とそのための教員との連絡・調整 ○SSWCによる保護者面談、関係機関への接続
○特別支援教育専門員の巡回指導、的確な助言 ○相談員の小学校での相談活動(要請に応じて) ○なないろスコラ開設
▲家庭・保護者・児童生徒への継続的な支援、卒業後まで見据えた福祉と連携した支援 ▲教職員、マンパワーが足りない。
▲多様な児童への対応のための、特別支援教育補助員の研修の機会の充実 ▲保護者への情報伝達

B 学校教育の充実

5 安全対策・通学路対策の推進

☛施設・設備の定期的な安全点検。
スクールガードリーダーの配置、スクールバスの運行。



◎(4&5)

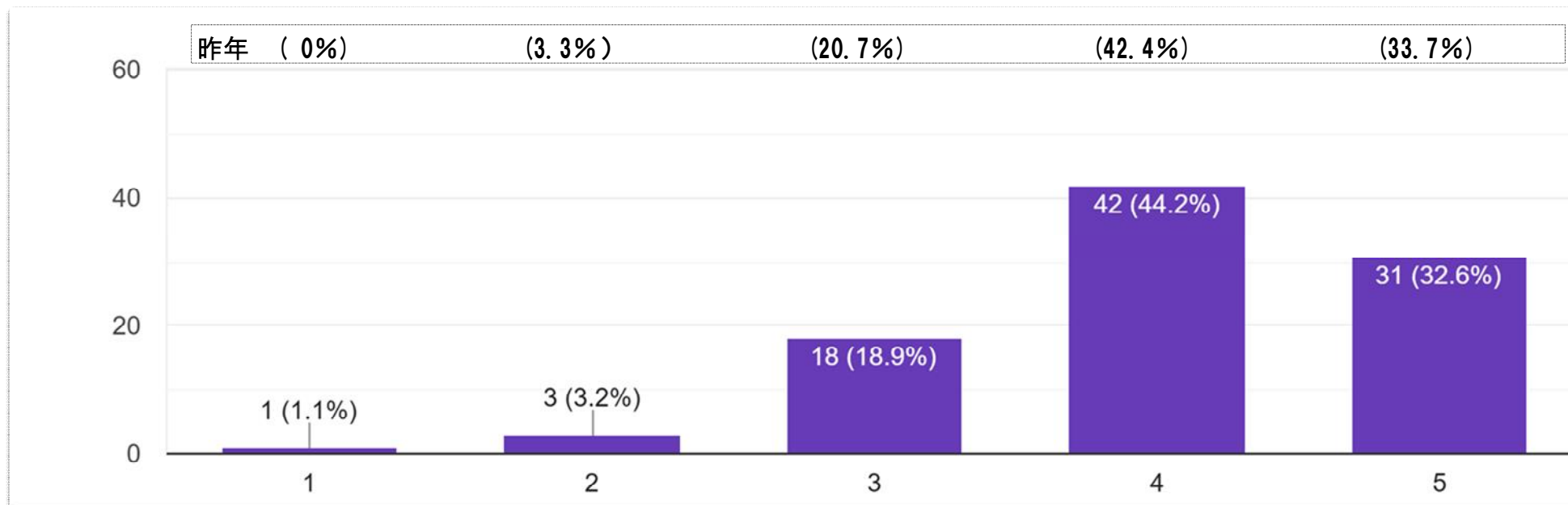
R5: 78.7

R6: 77.6

- スクールガードリーダー、地域の方による献身的な見守り
- 各学校での通学路点検と関係機関との合同点検、早期対応
- 教育活動へのスクールバス配車
- 施設、設備の整備への迅速な対応
- バス利用の指導、乗車しての指導
- 除雪
- ▲スクールガードリーダーの報告(あいさつ、防犯など)についての発信
- ▲バス非常口脱出訓練、防災機器取扱の確認
- ▲バス下校と学童利用に関わる保護者との連絡体制(次年度からの「すぐーる」に期待)

B 学校教育の充実

6 学校給食の充実 📍地産地消、いのちを育む食育の視点に立った取組み。広域炊飯施設等との連携。



◎(4&5)

R5: 76.1

R6: 76.8

○地産地消メニューや季節のイベントに合わせたメニュー ○食育の授業への給食センターの協力 ○給食無償化

○郷土料理調理実習 ○給食がとてもおいしい。

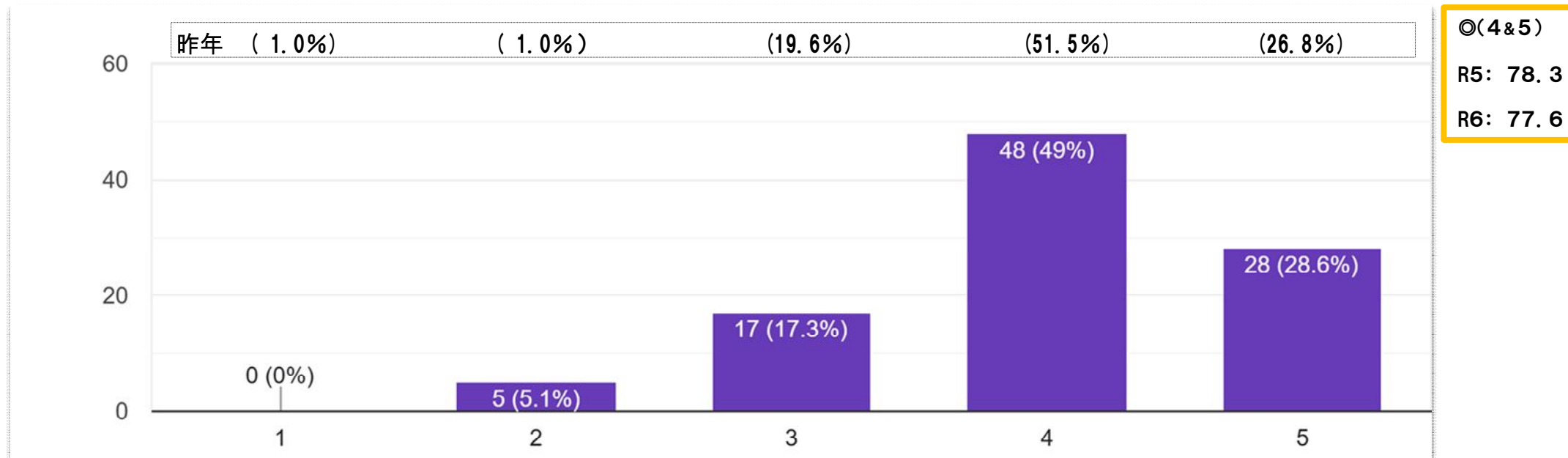
▲活動が形骸化していないか。 ▲センター休業による弁当持参日をできるだけなくしてほしい。

▲ソフト麺復活のための県の方策などあれば。

C 生涯学習体制の充実

1 生涯学習施設「町民交流センター(虹のプラザ)」の積極的活用

☛誰もが使いやすく学びやすい虹のプラザの環境づくり。



○会議やイベント、展示などで気持ちよく活用できる。 ○小中学生が図書館やエントランスを積極的に利用している。

○窓口の職員の対応が明るく丁寧

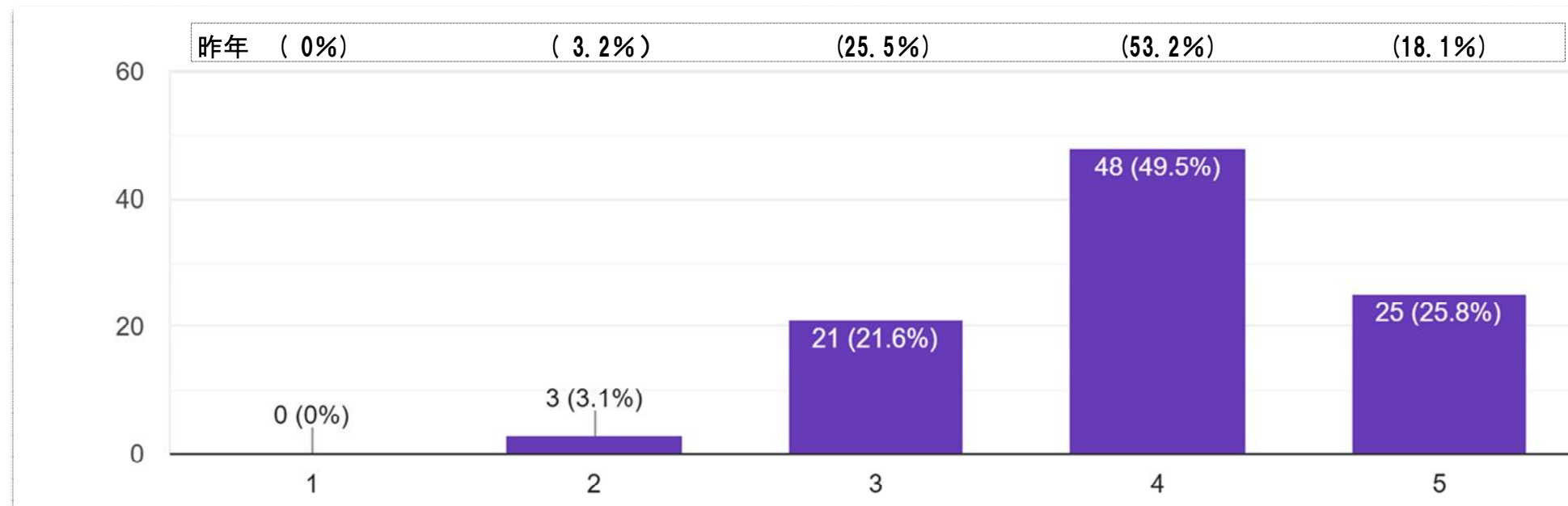
▲ゲームばかりの子どもがいるので、室内でも遊べる器具や外の公園の充実を。

▲スポーツクラブなど急な変更の場合のメールやラインがあれば助かる。

C 生涯学習体制の充実

2 生涯学習情報の提供と図書館の充実

幅広い年代の多様な学習活動を支援。
図書館の魅力ある企画展示やイベント。



◎(4&5)

R5: 71.3

R6: 75.3

○話題、季節、テーマ等による図書館の企画展示 ○開館時間が19時までで使いやすい。

○学校への図書の貸し出し ○朗読会、講座、講演会などの企画 ○えきとしょ、ナイトライブラリーなどの新たな事業

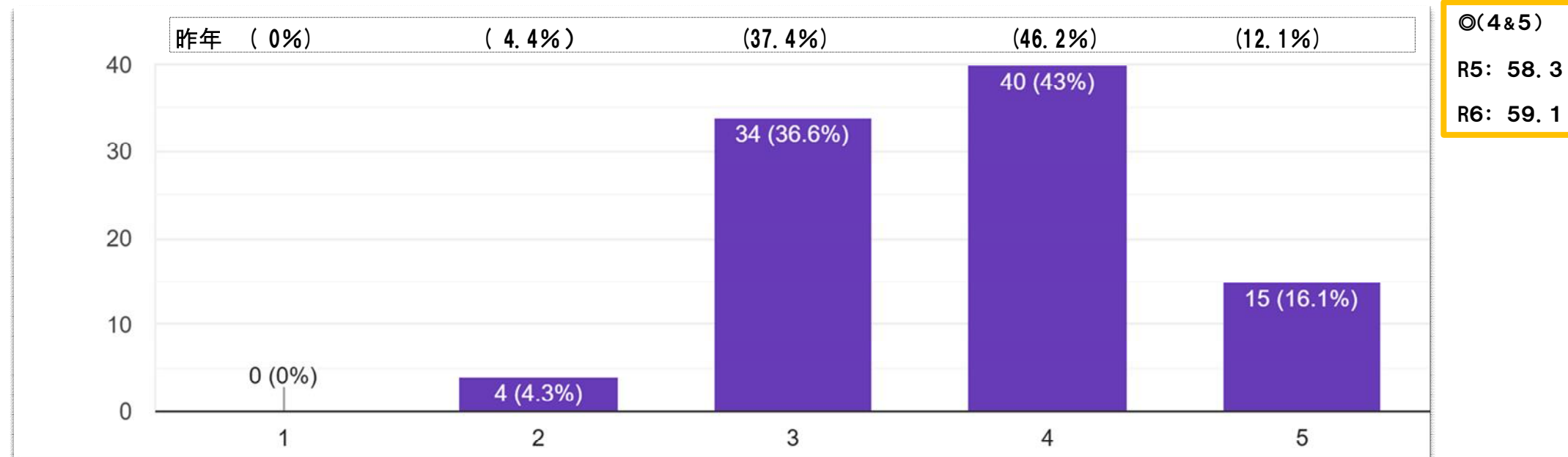
▲図書館まで遠い地域の子どもたちの利用 ▲町民の利用率アップ

▲教育活動のひとつに図書館見学などを。

C 生涯学習体制の充実

3 生涯学習事業の推進

☛ 幼児から高齢者の世代ごと学習事業を企画・推進。
中央公民館を中心に各公民館の連携。町のホームページや広報紙で広報活動。



○町民大学や様々な企画行事を考えていただき、参加できる。 ○町の広報の積極的な取材、内容の工夫

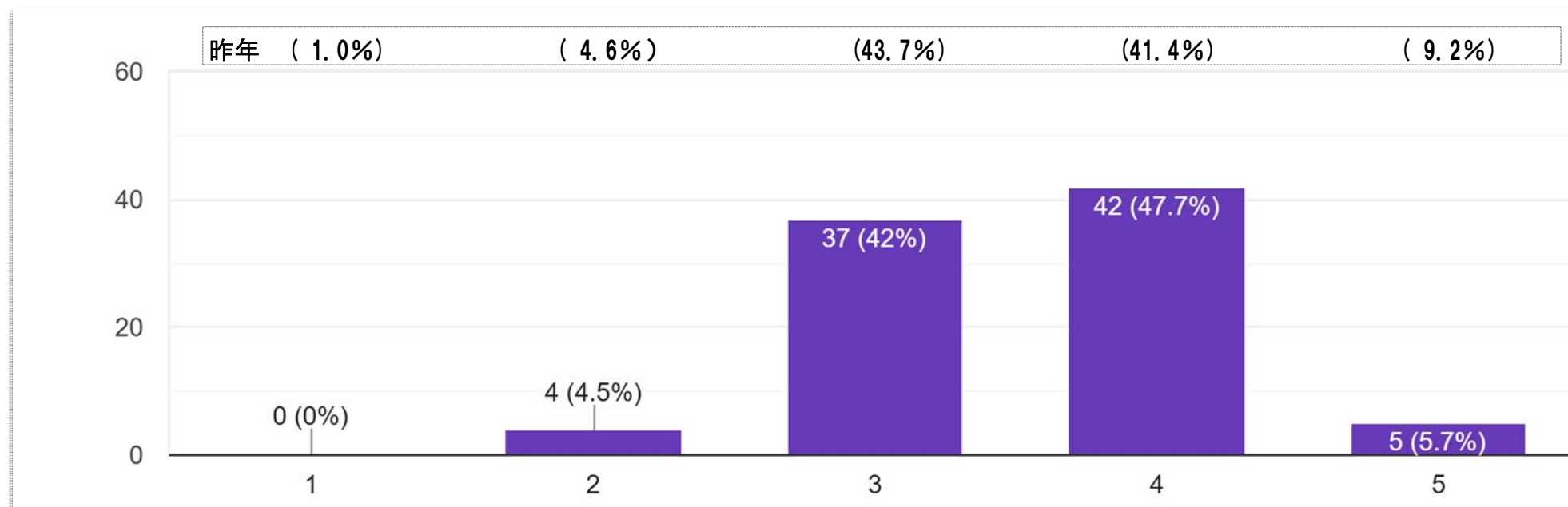
○大石田AIRの幼児親子向音楽企画や100歳体操への特別指導など間口の広い活動

▲公民館活動についての認識不足 ▲各地区公民館単独での事業は困難

C 生涯学習体制の充実

4 各種団体の活動支援と指導者の育成

☛ 各種の社会教育、学習団体の育成。
自発的な学習活動への支援と学び続ける風土づくり。



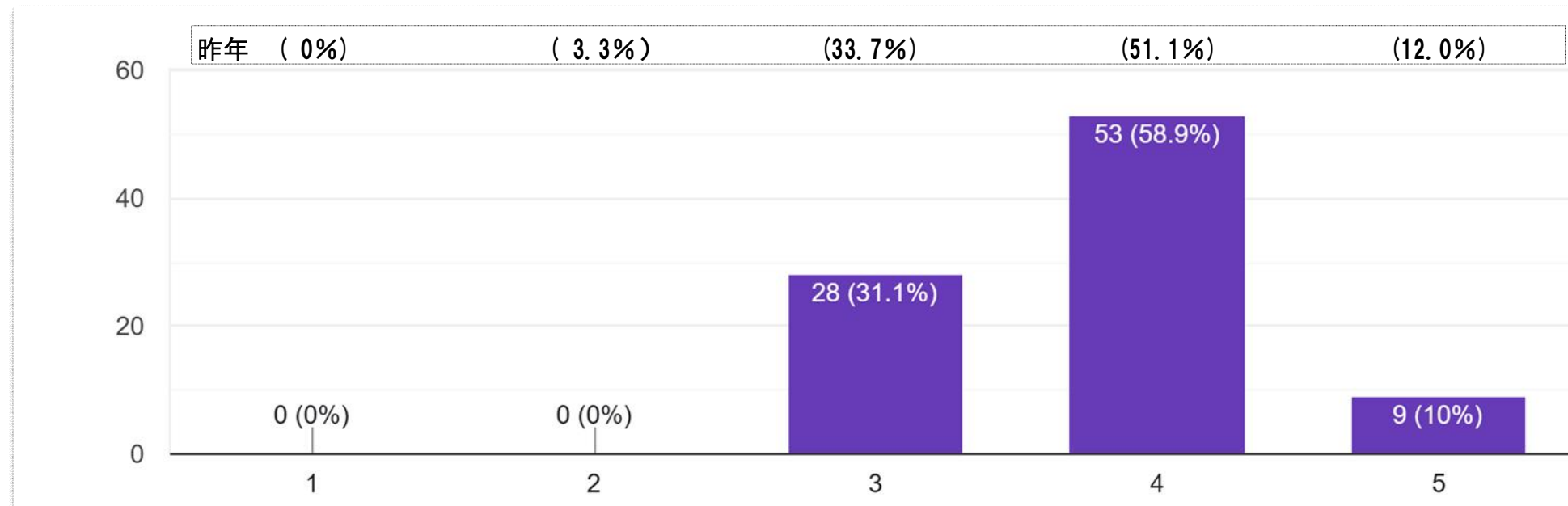
○「かわまちづくり」産学官連携した取り組み ○事務局による各団体の活動への支援

▲部活動の地域移行、地域の団体育成 ▲虹のプラザの現役世代の利用、利用層の拡大

C 生涯学習体制の充実

5 学習成果の活用

☛ 町民の学習活動の支援、発表する機会と場の提供。
学習成果の共有による人づくり町づくり。



◎(4&5)

R5: 63.1

R6: 68.9

○ホールの有効活用、各種発表会への町外観客の増加 ○中学1年の総合的な学習の成果の発表の機会と大石田検定の展示

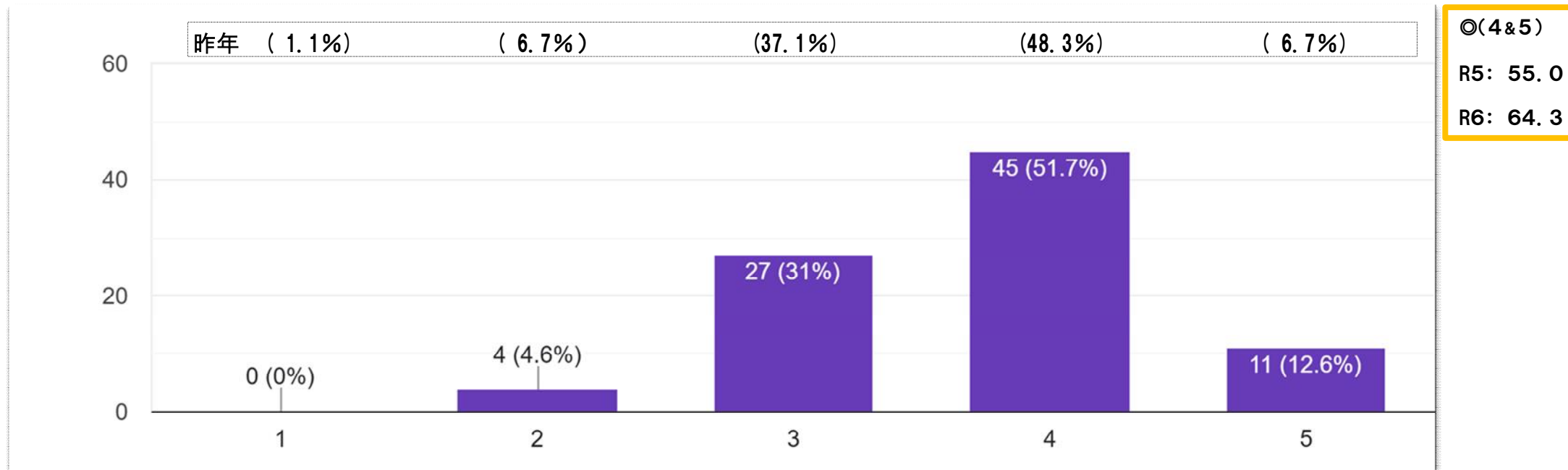
○虹のプラザの掲示物が学びの交流に

▲子どもサミットの改善、多くの生徒を巻き込んだ取り組みに

D 文化芸術・スポーツの振興

1 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興

☞町民主体の芸術文化活動の促進。歴史民俗資料館の整備・運営。町民一人1芸術文化活動の推進。駒籠楯跡等の文化財調査。



○芸術祭の各種団体の発表 ○大石田AIRによるイベント ○大石田かるたの奨励

○歴史民俗資料館、NHKによるPR

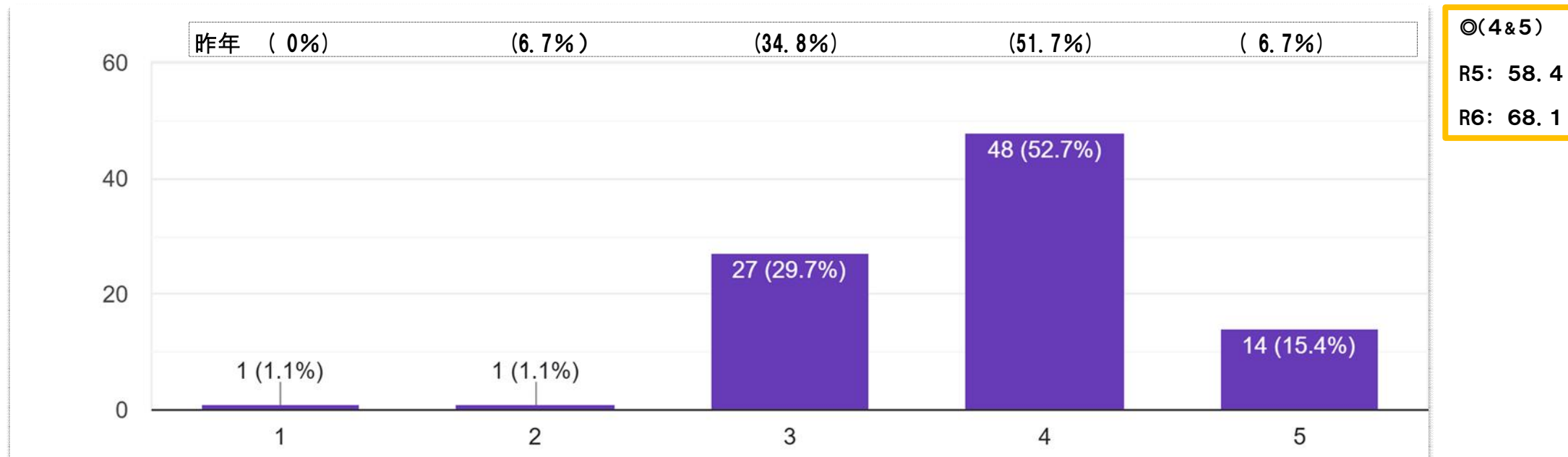
▲町民の一人1芸術への理解 ▲町民の意識向上のためには、学校教育と社会教育が境目なく交流、実践する。

▲活動人口が限定的、若年層の活動必要 ▲資料館来館者増加のための施策 ▲文化の町としての取り組み継続

D 文化芸術・スポーツの振興

2 元気と感動を与えるスポーツの普及推進

☛誰もができるスポーツ活動の場の提供。町民一人1スポーツの普及・推進。東北・全国・世界大会出場選手への支援と育成。



○様々なスポーツ教室の企画、展開 ○東北、全校、世界大会での活躍と選手への支援、応援(看板、激励金)

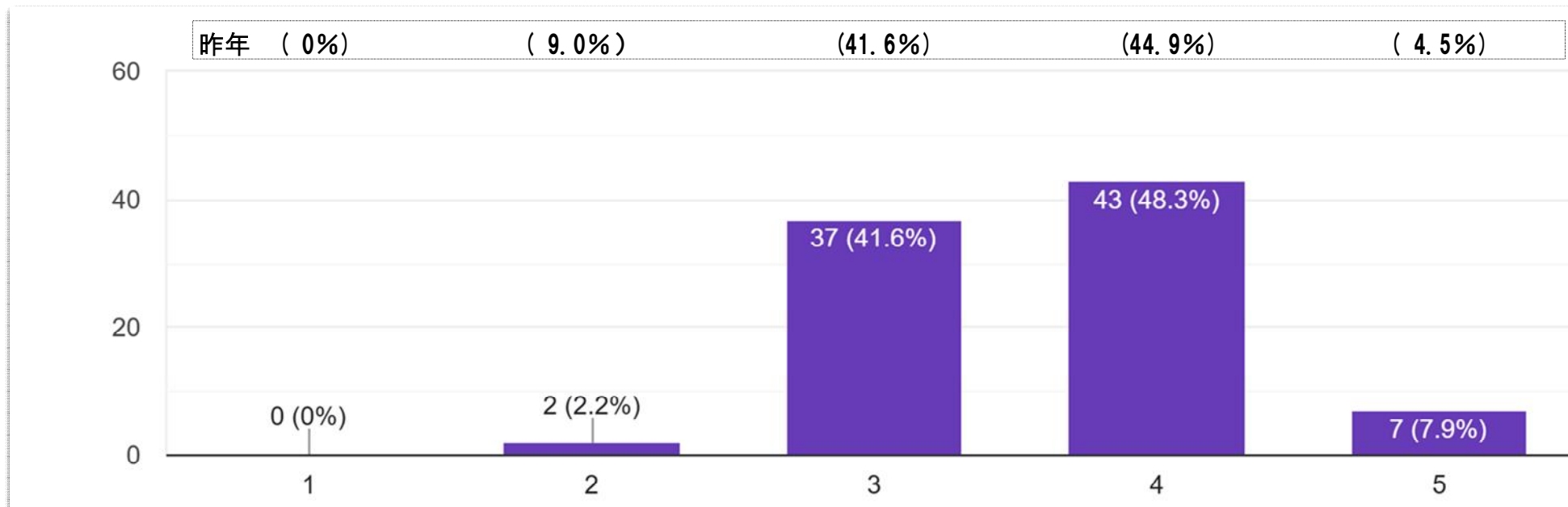
○大石田AIRのダンスクラブ発足 ○ふれあいマラソンへの期待感 ○町をあげての齋藤元希選手の応援

▲部活動の地域移行(進んでいるのか)、移行後の支援(金銭面) ▲若い推進員と若者のスポーツ参加

▲少子高齢化に向けボッチャやモルックなど負担の少ないスポーツの普及 ▲スポーツ広場の通年活用法、利用者の拡大

D 文化芸術・スポーツの振興

3 主体的な活動を促進する組織体制の確立 ☞ 「いつでも・どこでも・だれでも」 スポーツ活動の仲間づくり・体力づくり。



◎(4&5)

R5: 49.4

R6: 56.2

○教科体育の年間計画を見直し、運動領域を全学年で同時期にし、異学年交流へ。 ○スラックライン ○100歳体操

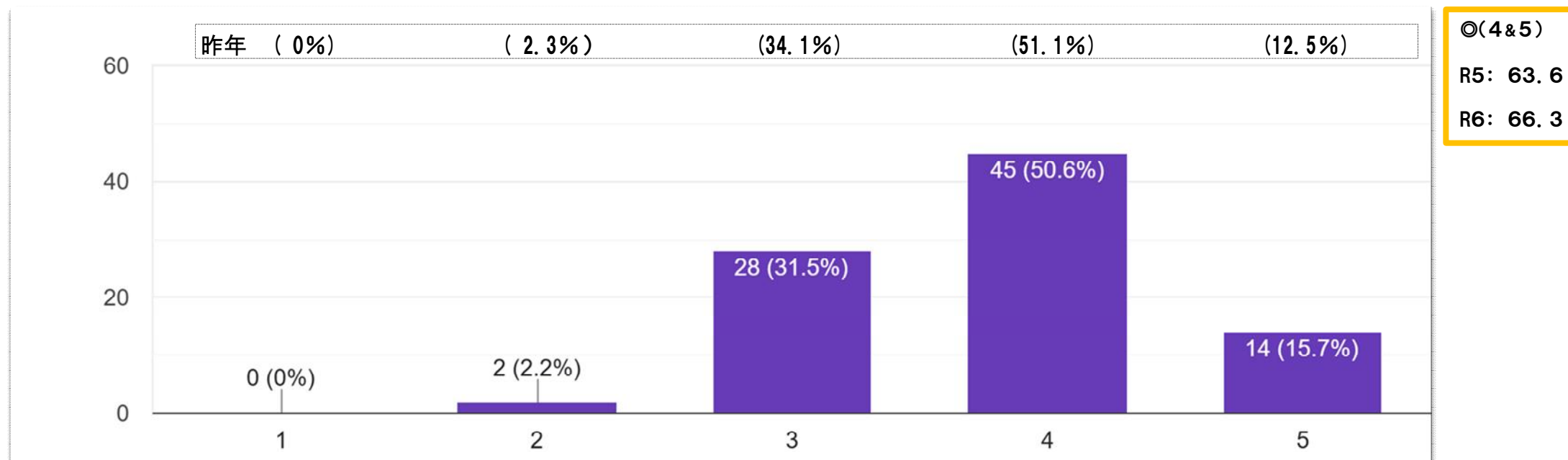
○スポーツクラブを通じた仲間づくり

▲役員の担い手の減少 ▲スポーツ団体の統合の検討

D 文化芸術・スポーツの振興

4 青少年健全育成活動の充実

☛ 青少年育成町民会議及び青少年育成推進委員会の活性化。
地域におけるあいさつ運動、声掛け運動。



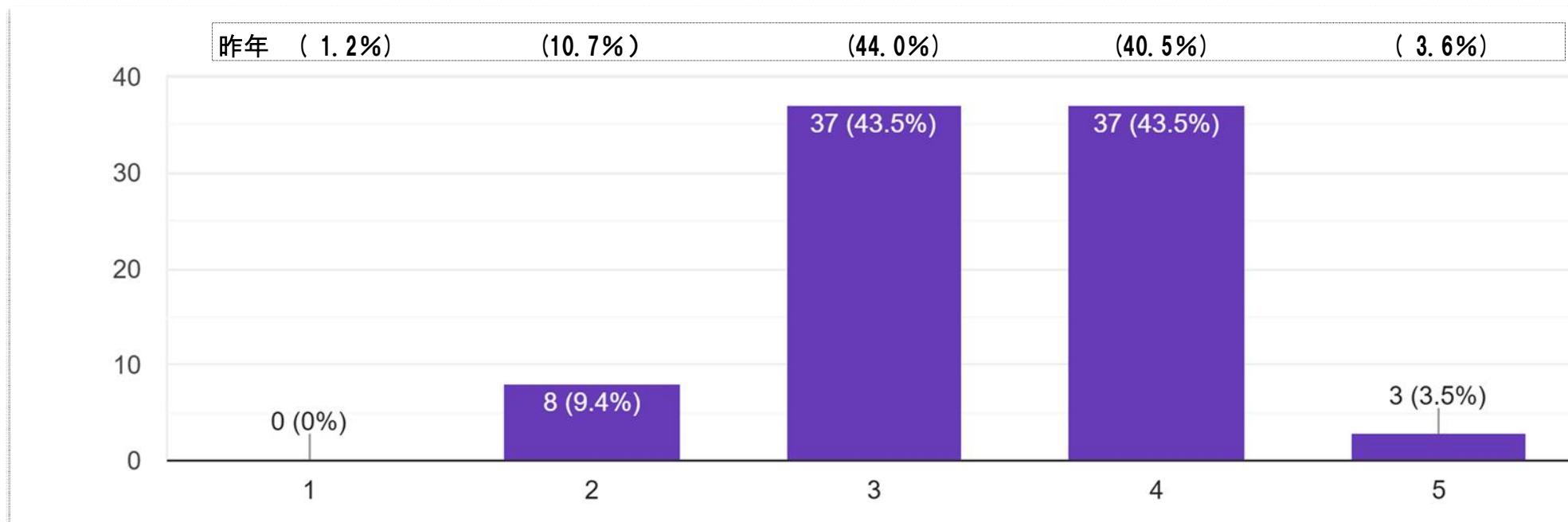
○あいさつ運動の多面的な広がり(子どもサミット、学校運営協議会、学校、地域)

○児童の作文発表の場 ○中学1年の発表

▲子どもサミットのテーマの検討 ▲いじめなど人権についても考えたい。

D 文化芸術・スポーツの振興

5 家庭・地域の教育機能の向上 📍家庭教育に関する講座・教室の開催。広報、啓発活動。



◎(4&5)

R5: 44.1

R6: 47.0

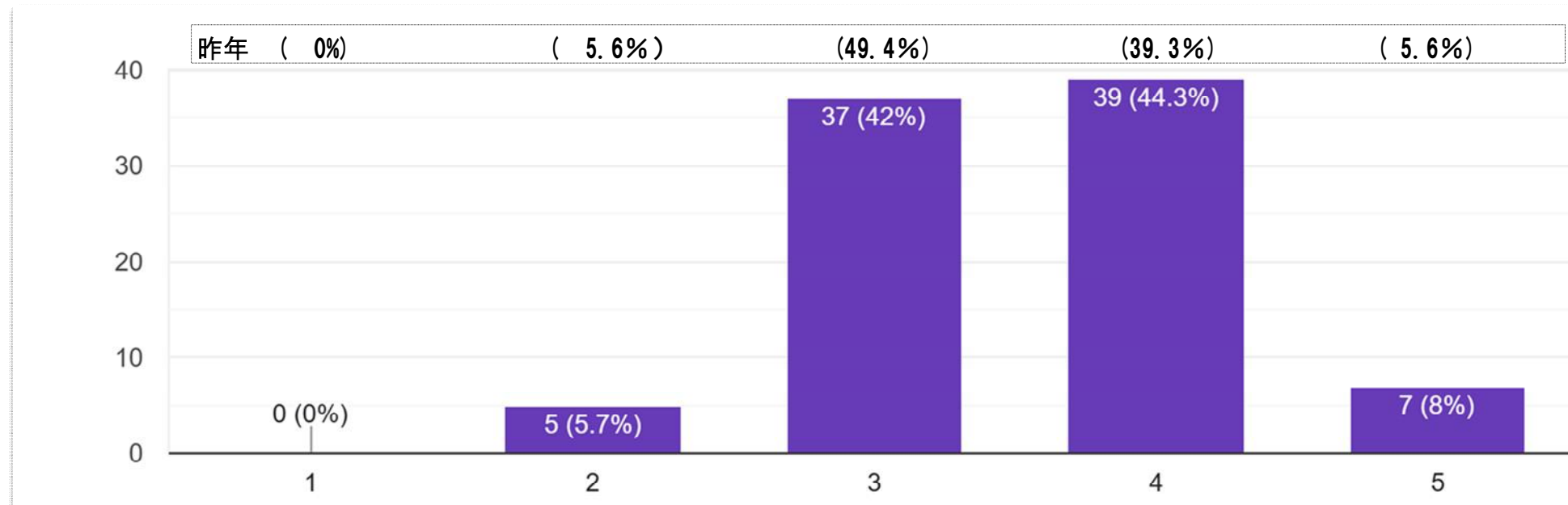
○県の事業を活用したPTA講演会 ○「親と子の集い」を保育園と協働実施

▲子育てについての講演の実施(楽しい活動と合わせて)

D 文化芸術・スポーツの振興

6 青少年団体の育成と体験・交流活動への参加促進

☛ 子供会、青少年団体の育成と支援。
ボランティア活動への積極的な参加。



◎(4&5)

R5: 44.9

R6: 52.3

○高校生を中心としたボランティアの地盤 ○県内の高校生ボランティアによる協力

▲学校内のボランティア活動の形骸化 ▲児童会と校外のボランティアのつながり

▲統合を踏まえた子供会組織のありかた、組織改編などの検討必要

A 地域と共にある学校づくりの推進

- ・「地域学校協働活動」「『引・伸・灯』教育の推進」は昨年度より高い評価となった。大石田町の教育の核として理解され、子どもたちに関わる全ての人たちが同じ思いをもって児童生徒の成長を支え導いていることが感じられる。
- ・「開かれた信頼される学校づくり」について、ホームページの開設は大きな前進だったが、日常の発信・受信の双方向の交流が必要と感じた。児童生徒、保護者、地域の方々、それぞれへの相手意識を大事にした関わりを再確認したい。

B 学校教育の充実

- ・大石田南小の特別活動の研究発表が、特別活動のみならず発達支持的生徒指導、そして生徒指導と学習指導の一体化といった意識へと結びついていったことは、大きな成果である。
- ・校内研究やアクションプラン、さらには2校で実施の教科担任マイスター制度により授業改善が大きく前進したことが感じられる評価となっている。学力向上のため、そして生きぬく力を育てるために今後も強化していきたい。
- ・ICT活用や多様なニーズへの対応については、急速な社会の変化と町の実態を照らし合わせながら取り組んでいく必要がある。

C 生涯学習体制の充実

- ・虹のプラザを拠点とし、年間を通して芸術文化の交流が幅広く行なわれており、児童生徒の情操教育にも寄与している。
- ・図書館の利用者の満足度が高く、新事業も高評価である。読書層の拡大、子どもの読書離れへの対策などに継続して取り組みたい。

D 文化芸術・スポーツの振興

- ・大石田かるたが広く浸透し、学校教育の地域教材としても根付いてきている。
- ・町出身選手の活躍に加え、大石田AIRやふれあいマラソン、スポーツクラブなどの事業のアップデートが高評価となっている。
- ・中学校の部活動地域移行が課題としてあげられる。町民の関心も高まっており、対象児童生徒・保護者だけでなく、町民全体へも情報を発信していきたい。
- ・家庭教育の啓蒙について、学校教育と生涯教育、子ども家庭センターが連携してニーズに合った取り組みを行なう必要がある。